

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。当社グループの平成23年3月期第3四半期の業績をご送付申しあげます。

さて、現在、当社グループは、昨年4月に策定した中長期経営ビジョン「KOBELCO VISION “G”」の実現に向け、各種施策を進めております。

例えば、鉄鋼事業部門では、自動車用冷延ハイテン(*)の製造設備を米国に建設することを決定いたしました。北米においても、衝突安全規制の厳格化に対応しながら、車体を軽量化するニーズが今後益々大きくなります。そのため、冷延ハイテンに対する需要が増加するものと見込んでおり、これを着実に取り込んでまいります。

機械事業部門では、インド企業と合併でタイヤ・ゴム関連機械の製造販売会社を設立いたしました。これにより、日米中にインドを加えた4つの拠点から、今後見込まれる需要増に対応することが可能となります。

また、このほかにもインドにおける鉄鋼事業に関して、現地企業と協議を進めるなど、様々な検討を進めております。

当社グループは、このような施策を通じて、「KOBELCO VISION “G”」を達成し、企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(*)「ハイテン」とは、高張力鋼板の総称です。



代表取締役社長

佐藤 廣士

平成23年2月

●証券会社にお預けされていない株式について

ご所有株式が、「特別口座」で管理されています。

「特別口座」とは、証券会社にお預けされていない株式を管理するために、当社が特別に開設した口座です。特別口座では単元株式の売買ができないなど、制約があります。**証券会社の口座へ移管することをお奨めいたします。**

まだ特別口座にお預けのままの株式があるかもしれませんので、今一度お預け先をご確認ください。

＜特別口座に関するお問い合わせ先＞

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

Tel.0120-094-777 (通話料無料 土日祝日を除く9:00~17:00受付)

●単元未満株式の買取・買増請求について

当社株式のうち、単元未満株式（1,000株未満の株式）については、買取請求・買増請求をすることができます。

○買取請求

単元未満株式を、当社に対し買い取るよう請求することができます。

○買増請求

ご所有の単元未満株式と合わせて1,000株にするのに必要な株式を、当社から買い取るよう請求することができます。

いずれの場合も、その株式をお預けの証券会社等（お預けでない場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行）にお問合せくださいますよう、お願い申し上げます。

●ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業の内容のご紹介のほか、最新の情報を随時掲載しておりますので、ご覧ください。

アドレス <http://www.kobelco.co.jp>

●株主様工場見学会について

昨年12月上旬にご案内した株主様工場見学会には、3,952名の株主様からのご応募をいただきありがとうございました。募集人数を超えたため、ご案内のとおり、抽選とさせていただきます。ご理解を賜わりたく存じます。

なお、2月上旬に、当選者の方にはご案内状を、抽選に漏れた方にはその旨のご通知を発送いたしました。

平成23年3月期第3四半期（連結）の概況

経営成績

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、当第3四半期に入り景気対策の縮小や円高の影響などにより、回復のペースに一服感がみられたものの、海外経済の改善を背景に、総じて緩やかな回復基調が続きました。また、海外においても、中国で景気は拡大した他、米国、欧州においても、緩やかながら回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、国内外における製造業向けの需要が堅調に推移したことなどにより、鋼材やアルミ・銅圧延品の販売数量が、前年同期の水準を上回りました。また、油圧ショベルの販売台数は、中国における需要が拡大したことなどから、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1,494億円増収の1兆3,557億円となり、営業利益は、前年同期に比べ971億円増益の1,005億円、経常損益は、前年同期に比べ1,028億円増益の788億円、四半期純損益は、前年同期に比べ851億円増益の472億円の、それぞれ利益となりました。



売上高**13,557** 億円**営業利益****1,005** 億円**経常利益****788** 億円**四半期純利益****472** 億円

※矢印は前年同期比

事業部門別売上高情報

事業部門（セグメント）別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」に掲載の平成23年3月期第3四半期決算短信をご覧ください。

鉄鋼事業部門**6,227** 億円**神鋼環境ソリューション****456** 億円**溶接事業部門****580** 億円**コベルコ建機****2,413** 億円**アルミ・銅事業部門****2,294** 億円**コベルコクレーン****305** 億円**機械事業部門****1,044** 億円**その他****458** 億円**資源・エンジニアリング事業部門****302** 億円**調整額****△524** 億円

調整額は各事業間の内部売上高等の消去額です。

※矢印は前年同期比

※当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）を適用しており、従来、製品の類似性を考慮して決定しておりました事業セグメントの区分を経営管理上の事業セグメントの区分に変更しております。前年同期比は前第3四半期連結累計期間分を新区分に作成し直して記載しております。

平成23年3月期の連結業績予想

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(%表示は前期比)

	平成22年10月28日 発表値	平成23年2月3日 発表値	差異
売上高	19,100億円 14.3%	18,900億円 13.1%	△200億円
営業利益	1,150億円 149.9%	1,150億円 149.9%	—
経常利益	800億円 679.9%	800億円 679.9%	—
当期純利益	450億円 613.7%	450億円 613.7%	—
1株当たり当期純利益	14円98銭	14円98銭	—

上記の連結業績予想は、それぞれの発表日における予想数値です。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

配当状況

	1株当たり配当金 (円)			配当金総額 (年間)	配当性向 (年間)	純資産 配当率 (年間)
	中間期末	期末	年間計	(億円)	(%)	(%)
平成23年3月期	1.5	予定 1.5	予定 3.0	—	—	—
平成22年3月期	0.0	1.5	1.5	45	71.4	0.9
平成21年3月期	3.5	0.0	3.5	105	—	1.9
平成20年3月期	3.5	3.5	7.0	210	23.6	3.6
平成19年3月期	3.0	4.0	7.0	215	19.8	3.8

※配当性向については、各期の当期純損益が損失の場合、もしくは年間配当金額が未定の場合「—」と表記しております。

※平成23年3月期の期末配当については、上記のとおり1株当たり1円50銭を予定しております。